

厚生労働科学研究費補助金（認知症政策研究事業）
分担研究報告書

認知症初期集中支援推進事業を利用する独居認知症高齢者の実態に関する研究

研究分担者 武田章敬 国立長寿医療研究センター もの忘れセンター長

研究要旨

研究目的：全国の認知症初期集中支援推進事業を利用する独居認知症高齢者の実態把握を行い、認知症初期集中支援チームの独居認知症高齢者への支援のあり方を示しガイドに反映することを目的とした。**研究方法：**認知症初期集中支援チームの活動状況および対象となった独居高齢者に関する調査票を作成し、都道府県・市町村を介して全国の認知症初期集中支援チームに送付し調査を行った。全国の認知症初期集中支援チームを対象としてチームの活動状況や訪問対象者における独居の者の割合や現状を調査した。**研究結果：**対象者のうち3-4割が独居であることが判明した。そのうち独居の女性は消費者被害にあいやすく、独居の男性は自宅での生活の継続が難しいことが示された。また、独居の認知症者を支援する上での課題としては、キーパーソンの不在、金銭面の管理が困難、意思決定支援が困難の順に回答が多かった。**考察：**虐待や消費者被害にあった者は少なかったが、これらに関する対応は地域包括支援センターが担っている場合が多いことを反映したものと考えられる。消費者被害にあった女性のうち、75%が独居であったことを考えると独居者の消費者被害を防ぐ必要性が示された。支援終了時に自宅での生活を継続できていた独居の男性が少ないことは、独居で認知症または認知症が疑われる男性が自宅での生活を継続する難しさを示しているものと思われる。**結論：**認知症初期集中支援事業の対象者のうち3-4割が独居であることが判明した。そのうち独居の女性は消費者被害にあいやすく、独居の男性は自宅での生活の継続が難しいことが示された。

A. 研究目的

2025年度は全国の認知症初期集中支援推進事業を利用する独居認知症高齢者の実態把握を行い、2026～2027年度は認知症初期集中支援チームの独居認知症高齢者への支援のあり方を示しガイドに反映することを目的とした。

B. 研究方法

先行研究および調査を参考として認知症初期集中支援チームの活動状況および対象となった独居高齢者に関する調査票を作成し、都道府県・市町村を介して全国の認知症初期集中支援チームに送付し調査を行った（令和8年2月17日～3月13日）。

(倫理面への配慮)

本調査研究に関して、国立長寿医療研究センター 倫理・利益相反委員会での承認 (No.2015) を得た。

C. 研究結果

全国の認知症初期集中支援チーム 1,091 チームから有効回答を得た。令和 6 年度の初回訪問対象者は 7,234 名であった。そのうち独居の者は男性で 35.7%、女性で 42.9% であった。

対象者のうち虐待や消費者被害にあった者は少なかったが、消費者被害は独居の女性で特に多かった。

支援終了時に自宅で生活を継続していた者の割合は、独居では男性 62.3%、女性 74.2%であり、いずれも独居でない者と比べて低かった。

独居の認知症者を支援する上での課題としては、キーパーソンの不在、金銭面の管理が困難、意思決定支援が困難の順に回答が多かった。

D. 考察

認知症初期集中支援チームの活動状況に関する調査は令和 3 年度を最後に行われていなかったが、今回初回訪問対象者における独居の者の状況も含め調査することができた。初回訪問対象者において独居の者の割合が 3・4 割であり、我が国の状況を反映したものと考えられた。虐待や消費者被害にあった者は少なかったが、これらに関する対応は地域包括支援センターが担っている場合が多いことを反映したものと考えられる。消費者被害にあった女性のうち、75% が独居であったことを考えると独居者の消

費者被害を防ぐ必要性が示された。支援終了時に自宅での生活を継続できていた独居の男性が少ないことは、独居で認知症または認知症が疑われる男性が自宅での生活を継続する難しさを示しているものと思われる。

E. 結論

認知症初期集中支援事業の対象者のうち 3・4 割が独居であることが判明した。そのうち独居の女性は消費者被害にあいやすく、独居の男性は自宅での生活の継続が難しいことが示された。

F. 研究発表

1. 論文発表

武田章敬. セミナー 抗 A β 抗体薬の登場によって変わるもの・変わらないもの「抗 A β 抗体療法時代の専門外来の診療フローとかかりつけ医の役割」. 内科総合誌 Medical Practice 42(5): 689-693, 2025.

武田章敬. 連載 今から準備 長く働く心身づくりのヒケツ, 第 9 回「認知症とは～症状や原因, 治療などの基礎知識」. 安全衛生のひろば 66(9):36-37, 2025, 中央労働災害防止協会.

武田章敬. 「新しい認知症観」に立った保健医療・福祉サービス提供体制の普及. 公益財団法人長寿科学振興財団 WEB 版機関誌「Aging & Health」 2025 年 115 号 10 月配信 (第 34 巻第 3 号) 秋号, p 16-20

武田章敬. これからの認知症医療の方向性. The Curator of Neurocognitive Disorders 3(1):30-35, 2026.

2. 学会発表

武田章敬他. 当センターもの忘れ外来受診から抗アミロイドβ抗体薬治療までの流れ. 第44回日本認知症学会学術集会, 2025年11月21日, 新潟市.

武田章敬: シンポジウム 23, 認知症のための保健医療サービス提供体制の整備. 第44回日本認知症学会学術集会, 2025年11月22日, 新潟市.

武田章敬: 長寿研特別シンポジウム, 認知症の人と家族をどう支えるか. 第49回日本高次脳機能学会学術総会, 2025年11月15日, 名古屋市.

G. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む.)

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし